

● 新刊書43,500冊をまるごと収録した本の情報誌 ●

# BOOK PAGE

# 本の年鑑 2026



日外アソシエーツ 編 (©ブックページ刊行会)

B5・2分冊 (分売不可) セット定価26,400円 (本体24,000円+税10%)

ISBN978-4-8169-3091-1 2026年4月刊行

- ・BOOK PAGE 本の年鑑2026 I  
実用書、絵本・児童書、哲学・心理学・宗教・歴史、語学・教育、芸術・芸能、文学・小説
- ・BOOK PAGE 本の年鑑2026 II  
社会・政治・法律、経済・産業・労働、情報・通信・コンピュータ、サイエンス・テクノロジー

## 書店の棚をイメージさせる独自の分類で、 2025年の新刊書が見える

テーマ・トピックから  
あらゆる分野の本が  
簡単に探せる  
新刊図書カタログ

- 1,000項目ものテーマ・トピックを見出しに、  
書店の棚を見るような感覚で2025年に出版された本が探せます。
- 書誌情報はもちろん、帯情報・目次、小説のあらすじなども記載。  
ブックガイドとしても楽しめます。
- I・IIの全体を引ける「事項名索引」「著者名索引」「書名索引」付き。

図書館や書店等で  
幅広く活用されています

お薦めします

- ◆図書館で……………選書リストや読書案内に
- ◆読書会や個人で……………読書の手引きとして
- ◆書店で……………棚充実、フェア・コーナー企画に
- ◆出版社で……………企画立案のための類書調査に
- ◆企業・広告代理店で……………資料調査に

編集発行

日外アソシエーツ

©ブックページ刊行会


(株)トーハン、日本出版販売(株)、(株)紀伊國屋書店、日外アソシエーツ(株)

☆「ブックページ」は1988年より毎年春に刊行されています。この機会にバックナンバーも是非お揃え下さい。

202603

お問い合わせは… 日外アソシエーツ 営業局

TEL.03-3763-5241(代) FAX.03-3764-0845  
〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 <https://www.nichigai.co.jp/>

注文書	BOOK PAGE 本の年鑑 2026	取扱書店
	セット定価26,400円 (本体24,000円+税10%) ISBN978-4-8169-3091-1	セット
		 9784816930911

社会・文化

た!、レジェンドに会いに行く! (ほか)  
2025.11 167p 21cm ¥1800 ①978-4-87981-824-9

◆**県立図書館長からはじまる図書館探究** 鈴木善彦著 日本図書館協会 (JLA図書館実践シリーズ)

【目次】1章 図書館の発見(赴任の驚き、「転職」図書館を学ぶ、「図書館の発見」、移住者からの手紙)、2章 県立図書館の使命と実践(県立図書館の存在意義、市町村立図書館への支援体制・実践例と新館建設支援、図書館ネットワークの構築、公共図書館の指針として一図書館職員と法令、内外の図書館視察に学ぶ)、3章 県立図書館の危機と改革(県立図書館の危機、県立図書館の改革と資料費の確保、2世紀をまたいだ県立図書館長勤務)、4章 図書館支援の継続 県教育長、図書館協議会長、子ども読書活動推進委員長として(県教育長の仕事と図書館、「読書県しずおか」構想と実践、公共図書館への支援、鳥田市の「子ども読書活動推進計画」策定作業、牧の原市の図書館協議会活動と図書館建設)、5章 図書館の未来(教え子たちと図書館、デジタル化と読書・図書館、図書館の持続可能性、図書館運営論と「新静岡県立図書館構想」への期待)  
2025.2 176p 19cm ¥1800 ①978-4-8204-2414-7

◆**子どもと本をつなぐ一子ども文庫と私立図書館** 汐崎順子著 玉川大学出版部

【要旨】第1部では各種文庫・アンケート・インタビュー調査をもとに子ども文庫の歴史と現在を読み解く。第2部では文庫・出版・図書館の三本を源流とする「東京子ども図書館」の設立過程を、土屋滋子・石井桃子・松岡享子に焦点をあててたどる。第3部では東日本大震災後の岩手県陸前高田市で生まれた三つの文庫をとおり、子ども文庫と私立図書館の役割と可能性をさぐる。  
2025.10 335p 20cm ¥2800 ①978-4-472-40646-1

◆**子どもの読書を支える図書館—ブックトークと読書のアニメーションから考える** 植谷文芳著 青弓社

【目次】知識社会と子どもの読書、地域の図書館を考える、なぜ図書館の本質は言語活動にあると考えるのか、自治体の主要な施策から図書館政策へ、図書館と経営マネジメント、地域の図書館は教育改革にどう関わるか、言語活動としてのブックトークと読書のアニメーション、教育改革は探究を社会化できるか、探究は図書館を変えるか、図書館の評価は政策とどうつながるか、政策法務で考える図書館活動とは何か、社会的公正のための図書館  
2025.11 252p 19cm ¥3000 ①978-4-7872-0092-1

◆**これからの図書館情報学—人工知能と共生する図書館** 山本順一、前川和子、松戸宏子編 斐閣 (y・knot)

【要旨】図書館はあなたにとってどのような存在だろうか。人と知識、社会をつなぐ図書館。人々の暮らし、未来に貢献する図書館。本書では、図書館が果たすべきさまざまな機能・課題について整理し、国内外の先進事例も多数紹介します。人々、社会が多くの課題を抱える時代だからこそ、今改めて図書館の意義と新たな可能性について考えてみよう。  
2025.5 274p 19cm ¥2000 ①978-4-641-20017-3

◆**塩見先生。みんなの学びに寄り添う図書館ってどうやってつくるの?—ストーリーでわかる生涯学習支援サービスの考え方** 塩見昇監修 DBジャパン (教えて!先生シリーズ)

【要旨】図書館業務に役立つ考え方が物語で学べる「教えて!先生」シリーズ。「誰もが学び続けられる図書館」をつくるための「生涯学習支援の考え方」をエキスパートが解説!生涯学習の基本の「き」とは?誰もが「学び」を楽しめる未来をつくるには?「ICT技術は目的ではなく手段」ってどういうこと?「学びからの疎外」とは?どう解決すればいい?  
2025.7 163p A5 ¥2700 ①978-4-86140-614-4

◆**写真にみる日本図書館史** 新藤透編著 日外アソシエーツ

【目次】第1章 明治期近代図書館の勃興(年表1872年(明治5年)~1911年(明治44年)、写真と解説(ほか))、第2章 大正期大正デモクラシーと関東大震災(年表1912年(大正元年)~1925年(大正14年)、写真と解説(ほか))、第3章 昭和前期「昭和ファシズム」と戦争の時代(年表1927年(昭和2年)~1944年(昭和19年)、写真と解説(ほか))、第4章 昭和後期戦災からの復興と図書館の(年表1945年(昭和20年)~1988年(昭和63年))

写真と解説(ほか)、第5章 平成・令和伝統から革新へ(年表1989年(平成元年)~2024年(令和6年)、写真と解説(ほか))  
2025.6 327p A5 ¥15000 ①978-4-8169-3059-1



◆**情報サービス演習** 原田智子編著、江草由佳、小山憲司著、高山正也、植松貞夫監修 樹村房 (現代図書館情報学シリーズ7) 4訂

【目次】1部 情報サービス演習の設計から準備まで(情報サービスの設計と評価、情報サービス演習の準備)、2部 情報サービス演習の実践(情報資源の探し方、ウェブページ、ウェブサイトの探し方、図書館の探し方(ほか))、3部 情報サービスのための情報資源の構築と評価(レファレンスコレクションの整備、発信型情報サービスの構築と維持管理)  
2025.3 227p 21cm ¥2200 ①978-4-88367-407-7

◆**情報資源組織演習—情報メディアへのアクセスの仕組みをつくる** 山本順一監修、竹之内祐、須永和之、西田洋平、田嶋知宏編著 ミネルヴァ書房 (講座・図書館情報学 11) 第2版

【目次】第1部 記述目録編(目録を作成する意義、表現形の記録、関連の記録)、第2部 主題目録編(件名法(1)—BSHの基本構造、件名法(2)—BSHの応用、分類法の基礎(1)—NDCの概要(ほか)、第3部 NDC分類総合演習(NDC・0類(総記)の分類法、NDC・1類(哲学・心理学・宗教)の分類法、NDC・2類(歴史・伝記・地理)の分類法(ほか))  
2025.3 13, 269p 22cm ¥3500 ①978-4-623-09866-6

◆**情報流通・利用のパラダイムシフト** 山崎久道著 DBジャパン

【要旨】情報過多の時代だからこそ輝く、図書館員の専門性。急速に変わる情報社会の変化と課題を整理し、これからの知の使い方と図書館の未来を描く!情報は「受け取るもの」から「選ぶ取るもの」へ。情報と人をつなげる図書館員に、今、求められることは?情報環境の変化と課題点、「情報」との向き合い方がわかる!  
2025.9 159p 21cm ¥2450 ①978-4-86140-636-2

◆**調べ物に役立つ図書館のデータベース** 2025年版 小曾川真貴著 勉誠社 (ライブラリーぷっくす)

【要旨】「ググる」のさらに先へ。図書館で使える主要なデータベースと、ウェブで使える無料のサービスの使用方法を紹介。図書館での蔵書検索や、キーワードを使った検索方法についても、やさしく解説。  
2025.7 12, 228p 19cm ¥2000 ①978-4-585-30016-8

◆**事例で学ぶ情報サービス論** 吉井潤著 青弓社 (事例で学ぶ図書館)

【要旨】「情報サービス論」の項目を詳解し、さらに司書資格を取得するために知っておくべき大学図書館や専門図書館、学校図書館の事例も取り上げる。図書館で起こる情報サービスを幅広く解説しながら、研修にも利用できる実践的な内容を取り扱う。  
2025.10 164p 21cm ¥2000 ①978-4-7872-0091-4

◆**誰ひとり取り残さない図書館サービス—多様なニーズに寄りそう8つの事例** 野口武悟著 三和書籍

【要旨】

◆**知識組織論とはなにか—図書館情報学の展開** ビアウア・ヤラン著、根本彰訳 勁草書房

【要旨】厳密な基礎理論の検討を展開する図書館情報学の古典、ついに邦訳刊行!情報学と認識論・心理学・科学哲学・科学社会学を架橋する試みであり、知識哲学としての重要文献。生成AIが隆盛する現代情報学の読み解きにも役立つ一冊。  
2025.8 250p 22cm ¥5200 ①978-4-326-00063-0

◆**知の公共性と図書館—公共的知識と個人の無知の対比** バトリック・ウィルソン著、齋藤泰則訳 丸善出版

【要旨】インターネット環境は、知の公共空間を創出すると期待されてきたが、現状は閉鎖的で排他的な情報空間が乱立している。特定の見方や主張を信奉し、事実を基礎とした意思決定が軽視される社会の到来が予見される今、本書が示唆する「知の開放的な公共空間=図書館」は、現代社会において不可欠な知の社会的基盤であり、社会的機構である。知識とはどのように文献の中で表現され、公共的知識となっているのか。人々は自らの無知を解消するためにどのように公共的知識にアクセスするのか。そして、知の社会的機構としての図書館(員)が、いかにして知識を求める人たちに知識を届け、支援できるのかを問い、そのための理論を探究している。  
2025.1 178p 21cm ¥5000 ①978-4-621-31073-1

◆**デジタルアーカイブの理論と政策—デジタル文化資源の活用に向けて** 柳与志夫著 勁草書房 オンデマンド版

【目次】第1部 「デジタル文化資源」の発見(我が国における文化・知的情報資源政策形成に向けての基礎的考察、デジタル文化資源構築の意義、デジタル文化資源の可能性)、第2部 電子書籍/電子図書館からデジタルアーカイブへ(我が国の電子書籍流通における出版界の動向と政府の役割—現状と今後の課題、電子書籍と公共図書館—デジタルアーカイブという可能性、デジタルライブラリー—論再考—その系譜と文脈、補論:対概念の関係について)、第3部 デジタルアーカイブの理論化と政策化に向けて(デジタルアーカイブとは何か—その要件を考える、公共政策としてのデジタルアーカイブ)  
2025.9 249, 6p A5 ¥4200 ①978-4-326-98660-6

◆**デジタル時代の図書館員が知っておきたいレファレンス—サービス実践の手引き** 齊藤誠一著 DBジャパン (DBJ Booklet No. 6)

【要旨】図書館・レファレンス分野の第一人者が、情報リテラシーが求められる時代に必要「調べる力」と「寄り添う技術」の極意を伝授!利用者に向ける楽しさや知識を深める喜びを感じてもらおう対応とは?ハイブリッドな情報活用で、利用者の「知りたい」に応えよう。レファレンス記録の書き方、レファレンス・ブックの選定・活用まですぐに役立つ情報が満載!  
2025.8 77p 21cm ¥1600 ①978-4-86140-628-7

◆**デジタルデータの長期保存・活用—その理論と実践** 嘉村哲郎責任編集 勉誠社 (デジタルアーカイブ・ベーシックズ)

【要旨】デジタルアーカイブを社会基盤として確立するため、保存と運用管理に必要な基盤的要素の現状を考察する。わが国のデジタルアーカイブ(DA)は、横断的な検索プラットフォームとして定着しつつある。しかし、データ公開に関わる技術や方法論については活発な議論がなされていない一方で、デジタルデータを保存するための情報システム基盤と運用管理といったインフラの観点からの検討は不十分な状況にある。本書では、理論研究の専門家による知見と、情報システム基盤と運用管理の実務的観点を組み合わせた、デジタルデータ長期保存の理論と実践について論じ、将来のDA活用に向けた基盤づくりをめざす。デジタルアーカイブの新たな展望を拓くシリーズ!  
2025.3 383p 21cm ¥4200 ①978-4-585-30305-3

◆**ドキュメンテーションスタディーズ入門—記録される知の理論のために** ニルス・ヴィンフェルト・ロン著、塩崎亮、大沼太兵衛訳、根本彰解説 丸善出版

【目次】第1部 ドキュメンテーションの理論(舞台の仕組み、ドキュメンテーションの相補的理論、相補的なドキュメンテーション分析のためのモデル)、第2部 ドキュメンテーションの実践(音楽:フォン・ヴァルゼック伯爵夫人のためのレクイエム(別名モーツァルトの《レクイエム》)、文学:「インディアンキャンプ」—アーネスト・ヘミングウェイの短編小説、芸術:「橋の

テーマ・トピックなど  
1,000項目もの  
見出しの下に  
43,500点の新刊書を一覧